

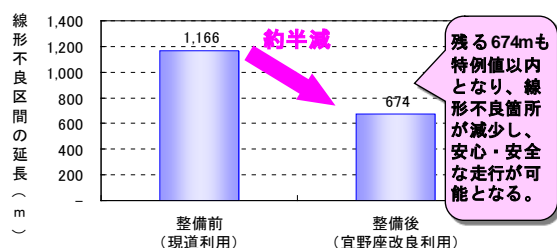
宜野座改良の全線開通による主な効果

効果1 交通安全の確保

- ◆ 宜野座改良の整備により、線形不良箇所の多い現道を回避或いは改良されることから、当該区間を走行する際の線形不良箇所が約1,170m（現道利用）から、約670m（整備後宜野座改良利用）に改善する。
- ◆ 通過交通がバイパス区間に転換することで現道区間の交通量が減少し、事故密度が約16%減少する等、沿道住民の安全性が向上する。

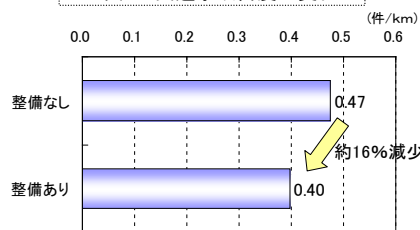
線形不良箇所の通行延長の減少

▼図14 整備前後における線形不良箇所の延長

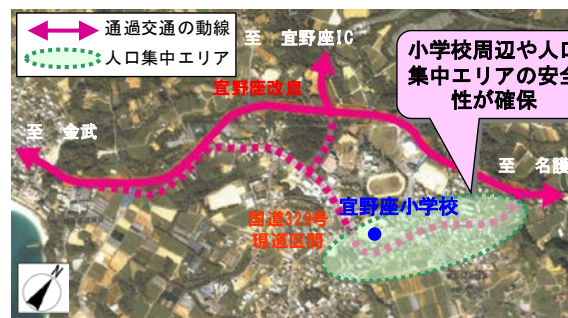


死傷事故の削減

▼図15 交通事故密度の変化



対象区間: 宜野座村濁原～宜野座IC(センサス番号1026の区間)



▲図16 整備前後における通過交通の動線の変化

効果2 地域活性化の支援

- ◆ 宜野座村では花き類や果実栽培等の農林水産業の他、阪神タイガースの春季キャンプが行われていることや道の駅ぎのぞ等もあり、観光産業も盛んである。宜野座改良の開通により、沖繩自動車道へのアクセスが向上することから、より一層の地域活性化が期待される。

▼宜野座改良開通によるアクセス向上



▼キャンプ開催時の様子

